



未来を担う中学生 300 名へ 弊社社長の半生から「生き方」を伝える

～地方企業の魅力を伝えることで地方創生に貢献～

小柳建設株式会社（新潟県三条市）は、5月17日、小新中学校において実施された「生き方講演会」にて弊社代表取締役社長 CEO の小柳卓蔵が登壇。演題は、『新潟で活躍する実業家から「変化を楽しもう。」を学ぶ～建設業界 DX 革命～』。同校よりお招きいただき、全校生徒 300 名に向けての講演となりました。同講演会は“地方企業の魅力を広く知ってもらうこと”を目的として、小新中学校青少年育成協議会主催で開催されたものです。当日は、社長自身の幼少期から現在に至るまでの軌跡を、当時抱えていた葛藤などの“思い”も併せての講演。現在の社長の「価値観」に直結する経験と、そこから得られた「生き方」を伝えました。



■伝えたいことは”決断”

社長自身の半生において、重要な要素となったこと。それは”決断”でした。幼少期から現在に至るまでの経験において、さまざまな葛藤を抱きながらも切り開いて来られたのは、その要所要所で”決断”をし、その軸をぶらすことなく貫いてきた背景がありました。『「生き方」に正解などなく、まずは”決断”すること。そして、自身の”決断”により、自分自身の「生き方」という正解を見つけることができる。』との考え方を伝えました。聴講された生徒の皆様は、自分自身の経験と重ね合わせながら耳を傾けている様子で、終始真剣な眼差しでした。

想像以上に長蛇の列となった最後の質疑応答では、「生きるとはどういうことか」や「一番人生で変えた決断はなにか」など、率直なご質問を数多くいただきました。講演後にいただいた感想でも「決断が一番印象に残っていて誰かに言われてじゃなく自分が決断したことに自信を持って生きていける大人に将来なりたいと思ったし、自分の人生の決断を自分自身で人生の正解にしていきたい」「この話は人生において大切に、特に人生を大きく変える進路を選ぶこの時期に聞くことができ良かった。」などをいただき、私たち自身も多くの気づきを得られた時間となりました。



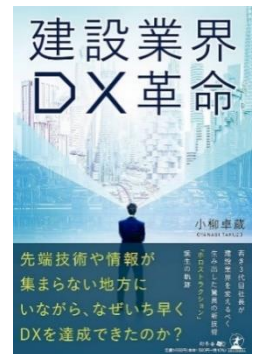
■地方創生に向けて

私たちは、建設業界のイメージを3K（きつい、汚い、危険）から、国土交通省が提唱する新3K（給与、休暇、希望）に転換するため、従業員が満足できる職場環境の構築をボトムアップ型で進めてまいりました。私たちの働きやすい職場環境構築に向けた取り組みや、その根底にある”考え方”を、未来を担う子供たちに伝えていくことで、建設業界へのイメージアップにつなげていくことはもちろんのこと、ひいては、同講演会などの機会を通じて、地方企業の魅力をより多くの地域の子供たちに知っていただくことで、地方創生に貢献してまいります。

■小柳卓蔵プロフィール

1981年新潟県生まれ。金融会社に勤務していたが、祖父の代から続き父が経営する小柳建設に2008年に入社し、管理部門、総務・人事部門などを担当。常務・専務を経て2014年6月社長に就任。京セラ創業者である稲盛和夫氏の著書「アメーバ経営」を読み、同氏の主催する塾に参加、同氏のフィロソフィを会社に浸透させて盤石な基礎を築き、伝統を重んじる建設業界にあって、DXを推進。

小柳建設代表取締役 CEO 小柳卓蔵
(著書「[建設業界DX革命](#)」)



《取材依頼・お問い合わせ》

広報担当：永井 陽子（ながい ようこ）

Mail : youko-nagai@n-oyanagi.com Mobile : 080-5384-1941 FAX : 0256-52-0778